



## 宿題たしかめ表

9月18日 ~ 9月24日

お家の人の サイン	今週の宿題
1	音読 下 P11~P33
2	漢字かんぺきくん P59~P61
3	漢字書きテストの練習 漢字かんぺきくん P62
4	漢字読みテストの練習 ⑭
5	たしかめプリント2枚・宿題プリント1枚・ごんぎつね3枚
6	「ごんぎつね」言葉さがし続き (授業つづりのプリント)
7	来週の新出漢字十六
8	言葉パズル-ことわざ慣用句⑯
9	短作文「今週の慣用句⑮」
10	9月の一言日記を続ける。
11	ウェブサイトを見て、今月の歌「夏の思い出」を歌う。
12	毎日の出来事を家の人と日本語で話し合う。



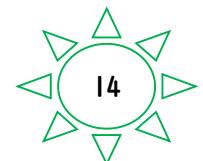
## 音読カード きのうより上手に読めたかな

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読んだところ	( ごんぎつね )						
よ む め あ て	土	日	月	火	水	木	金
① せいせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
お 家 の 人 の サ イ ン							



## 漢字読みテスト練習



梓組

\* 漢字の読みの練習をしましょう。正しく読めたかどうかたしかめながら、何度も読んでみましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
注意を欠く。	家具を配置する。	かばんを置く。	十の位。	単行本を読む。	小学校の卒業式。	栄養のある食事。	満点の答案。	出欠のかくにん。	つくえの位置。
⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯
⑰	⑰	⑰	⑰	⑰	⑰	⑰	⑰	⑰	⑰
大きな動作。	熱と水じょう気が発生する。	ごみを高温でもやす。	他の言葉で言いかえる。	葉に養分を送る。	妹が卒園する。	重さの単位。	体力を養う。	商店街が栄える。	月が満ちる。

# 宿題たしかめプリント

梓組

1 □に当てはまる漢字を書きましょう。

めいれい

(1) □をする。

(3) □まんてん

(2) □を目ざす。

(5) 姉の□そつぎょうしき

(7) □をはかる。

ちよつけい

(6)

よい

けつか

になる。

(8) 駅前の□ひやつかてん

(4)

えいよう

い

ち

のある食物。

- 2 対話のときに注意することをまとめました。()に当てはまる言葉をア～ウから選んで、記号で答えましょう。
- (1) それぞれの( )や、相手が何を( )いるかによって、感じることや考えることが変わってくることに気をつける。
- (2) 自分だけでなく、相手がどう( )を考える。
- ア 思うか イ 知つて ウ 立場

3 次の□に入る同じ言葉を、( )にひらがなで書きましょう。

- (3) (1) 家が□。先頭に□。湯気が□。
- (2) 橋が□。医者に□。わなに□。
- (3) 気を□。日記を□。電気を□。



# 宿題たしかめプリント

梓組

1

□に当てはまる漢字を書きましょう。

- (17) お  
い  
れ  
い  
の  
う  
つ  
く  
し  
い  
花  
。
- (15) こ  
う  
ふ  
く  
品  
物  
を  
く  
な  
く  
ら  
し  
。
- (13) 品  
物  
を  
う  
け  
と  
く  
る  
。
- (11) 学  
校  
に  
う  
か  
う  
。
- (9) 犬  
を  
け  
け  
出  
す  
。
- (7) い  
森  
に  
入  
る  
。
- (5) か  
い  
が  
ん  
に  
く  
。
- (3) わ  
る  
い  
者  
を  
こ  
ら  
し  
め  
る  
。
- (1) げ  
き  
の  
は  
じ  
ま  
り  
。
- (18) た  
ま  
て  
ば  
こ  
物  
語  
が  
わ  
る  
。
- (16) ま  
ど  
を  
お  
け  
る  
。
- (14) ま  
ど  
を  
あ  
が  
る  
。
- (12) 石  
が  
こ  
ろ  
が  
る  
。
- (10) さ  
け  
を  
の  
む  
。
- (8) く  
ら  
い  
道  
を  
す  
す  
む  
。
- (6) か  
な  
い  
道  
を  
す  
す  
む  
。
- (4) い  
そ  
い  
で  
立  
ち  
さ  
さ  
る  
。
- (2) さ  
ら  
を  
お  
と  
す  
。



# 宿題プリント

解説

① 次の線の漢字の読みがなを書きましょう。

① 色の変化。 ② 折る  
③ 昼飯 ④ 菜種  
⑤ 松たけ ⑥ 積む  
⑦ 差す ⑧ ふり続く  
⑨ 念仏 ⑩ 連れ立つ  
⑪ 不思議 ⑫ 結末

② 次の線の言葉の意味をそれぞれ選んで、○をつけましょう。

① 小川のつつみを歩く。

川の流れの下の方。

② 祖父のいはいをささげる。  
川の水があふれないように高くしたところ。

③ なやにくわをしまう。  
なくなつた人の着ていたもの。

④ ウイア  
農具などを入れておく物置小屋。

⑤ なや  
人がねたり食事をしたりするへや。

「なや」は、  
農家などに  
あつたよ。



③ 次の□に当てはまる言葉を下の□から選んで、記号を書きましょう。(同じ言葉を一度使ってはいけません。)

① 水かさが( )ましている。

くりを( )拾う。

遊びに出かける。

つかれて( )横になる。

つえを( )と取り落とす。

オ	エ	ウ	イ	ア	ぱたり
ぐつたり	どつさり	ぶらぶら	どつと		

① 水かさが( )ましている。  
くりを( )拾う。  
遊びに出かける。  
つかれて( )横になる。  
つえを( )と取り落とす。

◆ 読みがなを書きましょう。

## ごんぎつね ほか ①

なまえ

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
不思議	松	昼飯	かごを積む。	花をふみ折る。	小川の水。	雨がふり続く。	一けん家	菜種がら	色の変化。
⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
連続する	交差点	ご飯	種類が多い。	うつり変わる	話の結末。	情景をえがく。	連れ立って歩く。	念仏をとなえる。	明かりが差す。



## ごんぎつね ほか ②

なまえ

1 — の言葉の意味にあうものを、— でつなぎましょう。

- ① 妹のしわざ。 • いきおい。元気。
- ② 道のぬかるみ。 • したこと。行い。
- ③ いせいのいい声。 • かわいそうな様子。
- ④ いたずらの つぐない。 • どころになった地面。  
• 相手にそんをさせたことの、うめ合わせをすること。

2 ( ) にあう言葉を、□から選んで書きましょう。

- ① 後ろで大きな音がして、( ) した。
- ② 雨があがると、急に空が ( ) 晴れた。
- ③ 近づいていくと、二人の話が ( ) 聞こえてきた。

3 ( ) にあう言葉を、□から選んで書きましょう。

からつと・だんだん・ぬるぬると・びくつと

- ① 日曜日な ( ) 、小学校は休みだ。
- ② 友達がわらい ( ) 、手をふっている。
- ③ きのうは、本を読んだり、絵をかい ( ) した。



と・たり・ので・のに・ながら

# ごんぎつね ほか ③

なまえ

◆ 文章を読んで答えましょう。

その明くる日も、ごんは、く

りを持って、兵十のうちへ出かけました。兵十は、物置で縄をなっていました。それで、ごんは、うちのうら口から、こつそり中へ入りました。

そのとき兵十は、ふと顔を上げました。と、きつねがうちの中へ入ったではありませんか。こな

いだ、うなぎをぬすみやがつたあのごんぎつねめが、またいたずらをしに來たな。

「ようし。」

兵十は立ち上がりつて、なやにかけてある火縄じゅうを取つて、火薬をつめました。そして、足音をしのばせて近よつて、今、戸口を出ようとするごんを、ドンとうちました。



1 ごんは、何をするために兵十のうちに出かけましたか。一つに○をつけましょう。

（　）いたずらをするため。（　）くりをどどけるため。（　）うなぎをぬすむため。

2 ごんがこつそり中へ入ったとき、兵十は、どこで何をしていましたか。

（　）で

（　）いた。

3 兵十が見た「きつね」は、前に何をぬすんだのですか。

（　）

4 兵十は、ごんが何をしに來たと思いましたか。

（　）をしに來た。

5 兵十は、何をしようとして、「立ち上がりつた」のですか。

（　）で

梓組 新出漢字 十六

部首  
飯

画

読み方

訓 音

部首  
積

画

読み方

訓 音

部首  
折

画

読み方

訓 音

部首  
続

画

読み方

訓 音

部首  
種

画

読み方

訓 音

部首  
夾

画

読み方

訓 音

名前

梓組 新出漢字 十六

部首	部首	部首	部首	部首	部首		
画	画	画	画	画	画	画	画
読み方							
訓 音	訓 音	訓 音	訓 音	訓 音	訓 音	訓 音	名前

# 21

# 天気のことわざ・慣用句

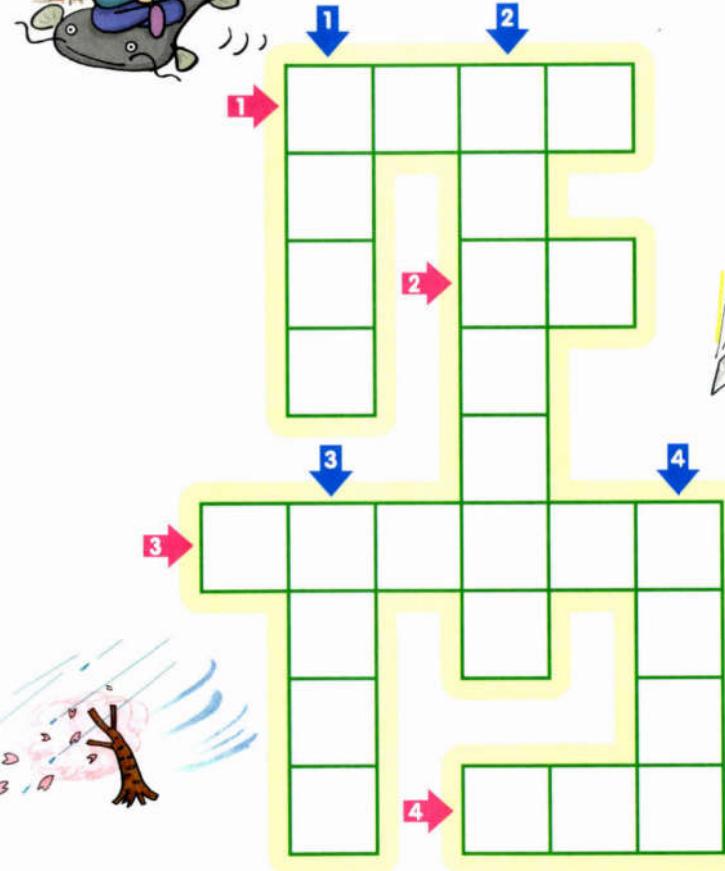
問題の答えを□に書こう。天気にかん係ある言葉だよ。

## たてのかぎ

- 1 こわいものをじゅん番にならべて、「地しん〇〇〇〇火事親父」という。〇〇〇〇は、空で光ってゴロゴロ音がするよ。
- 2 朝やけの日は雨がふって、夕やけの次の日は晴れるということを「〇〇〇〇〇〇〇〇、夕やけは日和」という。
- 3 〇〇〇〇にまかせることを「明日は明日の風がふく」という。「なりゆき」と「ともだち」のどちら？
- 4 父が何もいわないなんて、「あらしの前の〇〇〇〇」かな。

## よこのかぎ

- 1 社会などのしきたりに、へん化をあたえることを、風が通るあなをあけることにたとえて「〇〇〇〇をあける」という。
- 2 「雨がふろうが〇〇がふろうが」、明日はかならず学校へ行く。「やり」と「けん」のどちら？
- 3 よいじょうたいは長くつづかず、じゃまが入ることを、花があらしでちってしまう様子にたとえて「〇〇〇〇〇〇」という。
- 4 夕立のふるはんいの〇〇〇を「夕立は馬のせを分ける」という。「せまさ」と「せたけ」のどちら？



# 今週の慣用句 十五 九月十八日～

総名簿

今週は「手」に関係する慣用句です。

意味を知つて使えるようにしましょう。

## 手につかない

意味—物事にとりかかれない。他の「ことに心がうばわれて、集中できない。

## 手に汗をじごる

意味—あがない物事やはげしい争いを見て、はらはらする。

## お手上げ

意味—全くどうにもしようがなくなること。(いつもさんするとき両手を上げることから生まれた句)

## 手にあまる

意味—自分の力では、とうていあつかうことができない。もてあます。

意味—大変ていねいに教えること。

上の慣用句を一つ以上使って、最近の出来事を短い作文(主語・述語を明確にしてみましょう)。自分の経験でも、聞いた話でもいいです。使い方がよく分からぬ時は、国語辞典で調べ、例文を参考に考えてみましょう。

